

せいしんがくえんようちえん 子ども達からあき さくひん おてがみ とどきましたおんぶ
聖心学園幼稚園の子ども達から秋の作品とお手紙が届きました♪

(このブログは園児たちも読むので、ふりがなをふってます。)



(せんせい ちよくせつ わだ いえ じきん
先生が直接和田ふれあいの家に持参してくださいました！)



わだ ふれあいの いえ から は、 ご利用者と一緒 にかいた えんじへのお手紙と作った作品 (リースと
和のリース、どんぐりなど) とその作品の作り方を 書いた紙をお渡ししました。



さっそく園児からいただいた袋を開けると中から美味しそうな大きなくりや柿が沢山
入っていました。また、かわいい色とりどりの子供たちのアイデア満載の折り紙作品も沢山
入っていました。(園児のみなさん、いただいた写真は、ブログでは、個人情報に関係で
みなさんの顔をはっきり出すことができませんが、施設ではちゃんとおばちゃん、おじい
ちゃんたちにみなさんの笑顔を展示しています。安心して下さいね！)



色とりどりのかわいい作品は、さっそく子ども達と一緒に作る「きすなの木」に。そして掲示板に飾りました。（おばあちゃんたちが「かわいい作品をありがとう！」とっていましたよ。）



柿や栗は、ご利用者とお話しして、うるし柿等にして飾ることにしました。ひもの取り付けは、ご利用者がすべてやってくださいました。



さっそく、柿と栗を飾りました！

ここで、園児のみなさん、「ご利用者がなぜ柿をつるそうと思ったのかわかりますか〜？」

和田ふれあいの家に通っている●●おじいさんからのメッセージです。

「これは、おじいちゃん、おばあちゃんが子供のころからお父さんやお母さんなどに教えてもらった「干し柿」というもので、おいしい柿の食べ方です。甘柿ならそのまま食べられるのですが、苦い柿はそのままではとっても苦くて食べれないので、皮をむいて白当たりの良いところにむいた柿をつるして干します。（雨にあたるとカビが生えてしまうので、気を付けよう！）そうすると、2、3週間で甘い柿になります。ポイントは、柿を干して影に

なるところは、カビがしやすいので、干している柿の位置を変えたりして、柿全体にお日様が当たるように気を付けてあげることです。そうするととってもおいしい干し柿ができます。やってみてくださいね。」



子ども達からこうやって作品が届くのをご利用者はとっても楽しみにしています。

「あの木には、こんどどんな作品を飾るの？」とそんな質問も受けます。

子供達の豊かな発想は、ご利用者にとっても生活の刺激になったり、励みにもなります。

次の作品は、11月～12月ごろです。どんな作品が子ども達の中でできあがるか、楽しみです。これから風邪やインフルエンザが流行る季節になります。コロナウィルスも気をつけなくてはなりません。体調に気を付けて元気に過ごしてくださいね。私たちは次の子供たちとの交流を楽しみにしています。たくさんの素敵な作品をありがとうございました！

(伊藤)